

平成26年度  
(第1四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面においては、前年同期比107.5%、目標比98.9%の実績となりました。配置部門では消費税増税前の3月に駆け込み需要のために売上が落ち込みましたが、医薬品事業部、日本薬剤の販売の伸びもあり、売上高は、目標には若干届かないながらも、前年同期を上回る結果となりました。

また、一般管理費は前年同期比117.1%となりました。これは呉羽工場の設備投資に伴う経費計上によるものであります。一般管理費の計画比は、98.2%で推移しました。

経常利益は、前年同期の棚卸評価損戻入1億5600万円を除くと、2300万円改善しました。これは、製造のコストダウンにより製造原価が低くなったことによるものです。

(事業運営面)

前期策定の新中期5ヶ年経営計画の2年目である今年度は、

①「売上重視」から「収益構造改善」への方向転換

②コスト削減を図りながらの「成長戦略」の推進

という2つの課題の解決に継続的に挑戦してまいります。

#### ○ 課題への取り組み

上記2つの課題解決に取り組みながら、③顆粒剤大型案件を成功させるための社内の任組み・体制作り  
の早急な実現④大型投資後、グループの収益の安定黒字化に向けての、売上増及びコスト削減の取り組み⑤  
中長期的な人財育成、時代の流れに沿った企業文化の創造、素早くかつ弾力的な意思決定、推進という新た  
な3つの課題を掲げ、様々な施策を推し進めてまいります。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 6月23日、弊社会議室において第100回定時株主総会が開催され、取締役8名が選任、それぞれ就任致しました。

その結果、当社の取締役の陣容は下記のとおりとなりました。

代表取締役会長 兼 最高経営責任者：塩井 保彦

取締役社長 兼 最高執行役員：飯田 光孝

取締役：竹内 二三雄、中尾 哲雄、小沢 伊弘、新田 八朗、阿部 武夫、済木 育夫

2. 5月 広貫堂の直営3店舗にて「トラベルセット」と「常備薬セット」の発売を開始しました。

広貫堂シンガポールが品質管理システム認証(GDPMDS)を取得しました。

東日本大震災の震災遺児へ義援金として300万円を寄付しました。

3. 6月に広貫堂シンガポール、広貫堂マレーシアを設立しました。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第1四半期、平成26年4月～平成26年6月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	2,723,532	2,873,889	2,644,706	2,842,438
経常利益	-34,282	39,988	21,501	-111,534

### 広貫堂グループ

#### ○ 連結経営成績に関する定性的情報

売上面では、前年同期比102.9%で推移しました。配置部門の増税前の駆け込み需要による売上の減少があったものの、医薬品事業部と日本薬剤が健闘したことによるものです。

しかしながら、経常利益は、前年同期の棚卸評価損戻入1億5600万円を除くと、1700万円減少しました。これは、営業活動による経費が増加したことによるものです。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第1四半期、平成26年4月～平成26年6月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	3,334,523	3,499,779	3,316,588	3,413,459
経常利益	-38,643	-23,238	9,948	-164,421

平成26年度  
(第1四半期)  
グループ各社

## 広貫堂グループ IR情報

### 薬都広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

平成26年度末の消費税増税の特需による影響もあり、売上高は前年同期比87.8%、目標比85.3%、経常利益はマイナスで第1四半期を終えました。

(事業運営面)

配置市場に求められる製品を開発し、販売すること、および製品の適切な統廃合を推進します。また、改正薬事法を踏まえ、製品とサービスを組み合わせた新たな配置ビジネスモデルの構築に取り組みます。

#### ○ トピックス、適時情報

6月23日に第8回定時株主総会および取締役会を開催し、取締役3名、監査役1名が選任されました。  
代表取締役社長 劔田義徳 取締役 槻太朗(東京支店長兼任) 取締役 林庸平 監査役 但中秀隆

#### ○ 業績の概況 (第1四半期、平成26年4月～平成26年6月) (千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	878,120	877,553	721,098	633,533
経常利益	-8,370	-19,568	-20,043	-15,163

### 日本薬剂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクの販売増や植物石鹸など新製品の販売が寄与し、前年同期比104.2%の12億2500万円となりました。経常利益は前年同期比36.1%の1100万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部および食品事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しております。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 6月13日に第54回定時株主総会および取締役会を開催し、取締役3名、監査役1名が選任されました。  
代表取締役社長 宇多雅美 取締役 吉岡毅 取締役 江野本加寿雄 監査役 但中秀隆

2. 新発売(4～6月)

医薬部外品 100mLドリンク 1アイテム

医薬品 胃腸薬 4アイテム、ビタミンCチュアブル錠 1アイテム

食品 ゼリーパウチ飲料 1アイテム、蒟蒻ゼリーパウチ飲料 3アイテム、化粧品 植物石鹸 1アイテム

#### ○ 業績の概況 (第1四半期、平成26年4月～平成26年6月) (千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	1,100,250	1,143,140	1,175,010	1,225,115
経常利益	40,845	36,630	32,048	11,559

平成26年度  
(第1四半期)  
グループ各社

## 広貫堂グループ IR情報

### 広貫堂薬品販売 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第1四半期(4月～6月)販売面では売上高前年同期5億1900万円に対し4億3800万円、前年同期比84.4%となりました。利益面では前年同期△2200万円に対し△4700万円にて推移しました。

(事業運営面)

1. 顧客への還元キャンペーンとして透白美人の添付キャンペーンを行いました。
2. 社員への販売促進キャンペーンとして希釈飲料の売上による表彰キャンペーンを行いました。
3. 試みとしてウォーターサーバーの設置斡旋を行いました。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 第10回定時株主総会が6月18日当社にて開催され、取締役3名の選任及び就任と監査役1名の選任及び就任が承認されました。その後の取締役会において、代表取締役社長に飛田聡が選任され就任致しました。この結果当社の取締役の陣容は下記の通りとなりました。

代表取締役社長 飛田聡、取締役 但中秀隆、取締役 村達男、監査役 安井淳一

#### ○ 業績の概況 (第1四半期、平成26年4月～平成26年6月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	484,583	493,984	519,990	438,837
経常利益	-9,197	-54,277	-22,687	-47,213

### トキワ広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、予算比100.2%前年同期比95.8%となりました。経費面につきましては、販売費及び一般管理費予算比109.8%前年同期比100.5%で特売費増など特殊要因が発生した為であります。又経常利益では、前年同期△78万円に対し△75万円となりました。

(事業運営面)

平成26年2月よりサンリキソZⅡの置き込みを開始し、4月から消化促進の為にワンポイント説明を徹底する一方、5月より季節商品として黒酢の拡売に努めました。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 平成26年5月21日10:00よりトキワ広貫堂第1回取締役会が開催されました。

2. 平成26年6月20日10:00よりトキワ広貫堂第10回定期定時株主総会を開催し、取締役3名、監査役1名が選任されました。

代表取締役社長 平井 裕、取締役 但中秀隆、取締役 村 達男、監査役 安井淳一  
同日10:30より第2回取締役会が開催されました。

#### ○ 業績の概況 (第1四半期、平成26年4月～平成26年6月)

(千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	73,878	64,598	63,798	61,125
経常利益	-14,199	-1,194	-783	-750